

梅まつり関連の約1.8倍。データが語る 『青梅×犬連れ』という商機

青梅関連キーワードの表示回数

犬・ペット関連

31,127

梅まつり関連

16,979

青梅大祭関連

3,364

※SSAITSが運営する青梅の地域情報サイト「baigo.fun」のGoogle Search Console データ
(2026年1月～6月)より集計。

「表示回数」とは、Googleでそのキーワードを検索した人に対し、当サイトのページが検索結果に表示された回数です。当サイトが拾えた範囲の数字であり、青梅全体の検索需要そのものではありませんが、ニーズの大きさを比べる目安になります。

「青梅に来る人は何を求めている？」

当社が運営する地域情報サイトbaigo.funを調べると、二大イベント「梅まつり」「青梅大祭」を上回り、最も表示されていたのは「青梅 犬連れ」でした。なかでも「犬連れ ランチ」は、いままさに店を探している人の言葉。

テラス席やお庭があるなら、Webやマップに「ワンちゃんOK」と一行足すだけで、その人たちの目に留まります。

「犬に優しいまち・青梅」が、鍵になりそうです。

PICK UP! 青梅のSNSトレンド解剖



青梅大祭のようす (baigo.fun公式Instagramより)

検索されないのに、大バズり!?

上のグラフで最も少なかった「青梅大祭」。ですがInstagramを開けば、熱気あふれる写真と動画であふれています。日程も場所も地元の人知っている行事は、そもそも検索されません。その代わり、感動を分かち合うSNSでは爆発的に広がります。「検索されない=人気がない」ではないのです。

見つけてもらうWebと、ファンを育てるSNS。

この使い分けが、青梅での集客の近道です。

SSAITS ACTIVITY



創刊のご挨拶
青梅の身近な
IT相談所として

青梅に移住して3年。「ITの相談先が地元になく、市外に頼んでいる」というお声をよく耳にします。

「すぐ近くにいます」とお伝えできていなかった私のPR不足です。だから本誌を創刊しました。読んだその日に一つ試せる、青梅の商売に効くWebとITの話をお届けします。応援よろしく願いいたします！

このたびは会報vol.591にてSSAITSをご紹介いただきました。あわせてお読みいただけましたら幸いです。

SSAITS代表
山脇 弘成 (やまわき ひろしげ)
PMP®保有

その見積書、判を押す前に。

初回30分 無料

セカンドオピニオン相談

「この金額、妥当なのだろうか」——見積書や提案書を第三者の目で拝見します。乗り換えのお勧めも、その後の営業もいたします。

お気軽にご連絡ください。

＼ ここからお申込み ＼



<https://ssaits.jp/second-opinion/>

「お問い合わせフォームを作って」 の罠。地元のIT相談所が、 お客様の注文を最初に“疑う”理由



「うちのサイトにも、お問い合わせフォームを作ってよ」

よくいただくご相談です。ですが私たちは、お見積りを出す前に、しつこいほど「それは、何にお使いになりますか？」と伺います。

なぜなら、詳しくヒアリングをしていくと、実はお客様が本当にやりたかったのは単なるお問い合わせではなく、「イベントの景品抽選システム」だった！……なんてことが、この業界では日常茶飯事だからです。

もしこれが「言われたものを、言われた通りに作るだけ」の業者だったらどうでしょう。

使い勝手の悪いフォームが納品され、お客様はお金を払ったのに本来の目的（抽選）は達成できず、誰も幸せにならない悲劇が起きてしまいます。

実は、ITプロジェクトが失敗する最大の原因は、技術力ではなく「最初の目的のズレ（＝本当は何が欲しいのかの言語化不足）」にあるのです。

私たちSSAITSが大切にしているのは、「予約システムが欲しい」という表面的な言葉の裏にある「本当の目的」を雑談の中から紐解き、最適なITツールへと「翻訳」することです。

「ITのことはよくわからないけれど、こういうことを実現したい！」というモヤモヤした段階こそ、私たちの出番です。ぜひ、そのままの言葉で私たちにぶつけてください。

【初回30分 無料】セカンドオピニオン相談

＼ここからお申込み／

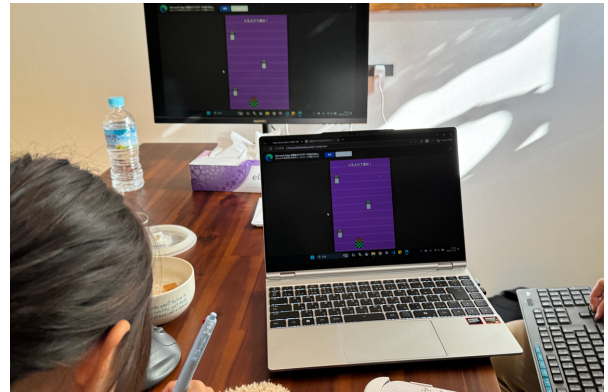


9月30日（水）までのお申し込みは優先的に日程を調整します。

こんなお悩みありませんか？

- 業者から出てきた見積もりが適正なのか、プロの目で見たい
- システム開発を外注したいが、社内にわかる人間がいない
- 社内のIT化を進めたいが、何から手をつければいいのか言葉にできない

AIで何でもつくれる！？ ハードルは言語化



「あつまラボ」でAIとゲーム作りをする様子

SSAITSが運営する子ども向けクリエイティブ教室「あつまラボ」では、子どもたちがデジタルツールを使って目を輝かせながら作品を作っています。

そこで気づくのは、これからの時代「難しいプログラミング言語」を知っていることより、「自分が何をしたいのか」を言葉にする力が圧倒的に重要になるということです。

これは、私たち大人のビジネスでも全く同じです。

今やChatGPTなどのAIを使えば、キャッチコピーでも画像でも一瞬で作れる時代になりました。しかし、多くの中小企業が「AIを使ってみたけど、思ったような答えが返ってこない」と挫折してしまいます。

原因はAIの性能ではなく、「AIへの指示（プロンプト）＝言語化」の不足と考えます。

「頭の中にはアイデアがあるのに、うまく言葉にできない」

「AIにも、IT業者にも、どう指示していいかわからない」

そんな時は、ぜひSSAITSを頼ってください。皆様の頭の中にあるモヤモヤしたアイデアを引き出し、AIやエンジニアに伝わる形へ「翻訳」するのが私たちの得意技です。

〔運営サイト〕

baigo.fun : <https://baigo.fun/>

Promapedia : <https://ssaits.jp/promapedia/>

あつまラボ : <https://ssaits.jp/atsuma-lab/>

発行：SSAITS

SSAITS MAGAZINE No.01（2026年9月発行）